

ハンドボール

No. 17

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生

- 全国大会
- 全国学生大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 成年男子
- 成年女子
- 少年男子
- 少年女子

試合
番号 **5**

年月日: 2018年 9月 16日 (日)
大会名: 第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公式記録用紙

A 広島県						熊本県						B			
福井県		永平寺町				北陸電力福井体育館1F						準決勝			
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B	
7mT得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7mT得点/総数				
	2/3		1	2	後3	1	2	後3	1/1						
			28:39	24:01					23:41	11:23	14:43				

No.	広島県	G	W	2'	2"	D	DR	No.	熊本県	G	W	2'	2"	D	DR
1	板野 陽							1	宮川 裕美						
2	角屋 里帆	4						2	相澤 莉乃	5					
3	石川 紗衣	5	1	1				3	石井 優花	1					
4	門谷 舞	2						4	松尾 祐依	2	1				
5	眞織 麻礼	1						5	勝連 智恵	2					
6	三田 未稀	2	1					6	尾崎 佳奈						
7	三橋 未来	1						7	吉田 起子	6					
8	近藤 万春	3						8	川俣 ゆかり		1				
9	石田 紗貴							9	永田 しおり	1	1				
10	木村 有沙	1						10	小館 美紀		1				
11	井内 理絵							11	福井 亜由美						
12	中村 桃子							12	白石 さと						
役員A	中山 剛							役員A	岡崎 恭代						
役員B	大前 典子							役員B	黄 慶泳						
役員C	高森 妙子							役員C	水野 裕紀						
役員D	山本 幸野							役員D	松原 淳一						

A	チーム役員A署名		B
特記事項			

レフェリー	松本 光則	南川 裕隆		
T.D.	神田 友和	城戸 佑太		
JHAオフィシャル	越田 義昭			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

第73回国民体育大会・平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9/ 13日(木)・14(金)・15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	C一チ
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館プレアAコート	回戦	一回戦	二回戦
	D	北陸電力福井体育館プレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
広島県			熊本県		
得点合計	小計		小計		得点合計
19	9		7		17
	10		10		
			前半		
			後半		
			第1延長前半		
			第1延長後半		
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

大会4日目。成年女子準々決勝2試合目は、昨年の国体準優勝の熊本県と、昨日富山県との熱戦を制した広島県の一戦。先取点は広島県。素早いパス回しから、右サイド⑦三橋が確実に決める。対する熊本県も、前半4分⑦吉田が豪快なロングシュートをねじ込む。3対3で向かえた前半12分、広島県は7mTを獲得し、勝ち越しのチャンスをつかむ。しかし、この7mTを熊本県GK①宮川がナイスセーブ。広島県に流れを渡さない。このセーブで流れに乗った熊本県は②相澤らのシュートで四連取。5対3と逆転する。追いつきたい広島県は、日本代表のGKでもある①板野が、熊本県のミドルシュートを再三の好セーブ。GKの奮闘に応えたい広島県。前半21分、相手のミスから⑩木村が持ち前のスピードを活かした速攻で、同点のゴールを挙げる。⑩木村のこのプレーが相手の退場を誘い、熊本県は苦しい時間帯が続く。GKを下げ6人攻撃を仕掛ける熊本県。しかし攻めでのミスが目立ち、広島県③石川、⑤眞継に連続で無人のゴールにシュートを許してしまう。ここで熊本県がたまたまタイムアウトを要求。立て直した熊本県は④松尾のカットインで反撃するも、9対7と広島県リードで前半を折り返す。

後半開始早々、⑨永田のプレーで獲得した7mTを、⑦吉田が確実に決める。これで勢いに乗った熊本県。③石井、⑨永田が続げざまに得点し、10対9と逆転。ベンチが沸きあがる。その後は両者、点を取っては取り返し、緊迫の試合展開が続く。後半9分、拮抗した展開を抜け出したのは広島県。⑧近藤が相手DFに引きずられながらも、気迫のこもったプレーで得点。その後もポストを中心にした攻めで、②角屋らが連続得点。後半11分で、15対12とリードを広げる。この流れを断ち切りたい熊本県はタイムアウトを要求。しかし、一度流れに乗った広島県の勢いをとめることはできず、タイムアウト前から含め七連続得点を許してしまう。終盤、熊本県は⑦吉田が奮起し、両チーム最多となる6点目を挙げ、猛追を図るもここでタイムアップ。後半流れに乗った広島県が、粘る熊本県を制し、決勝進出を決めた。

記載者氏名	村田 智洋
送信日時	月 日 ()
送信者署名	